

**第2期東郷町人口ビジョン・  
まち・ひと・しごと創生総合戦略  
－令和元年度進捗状況－**

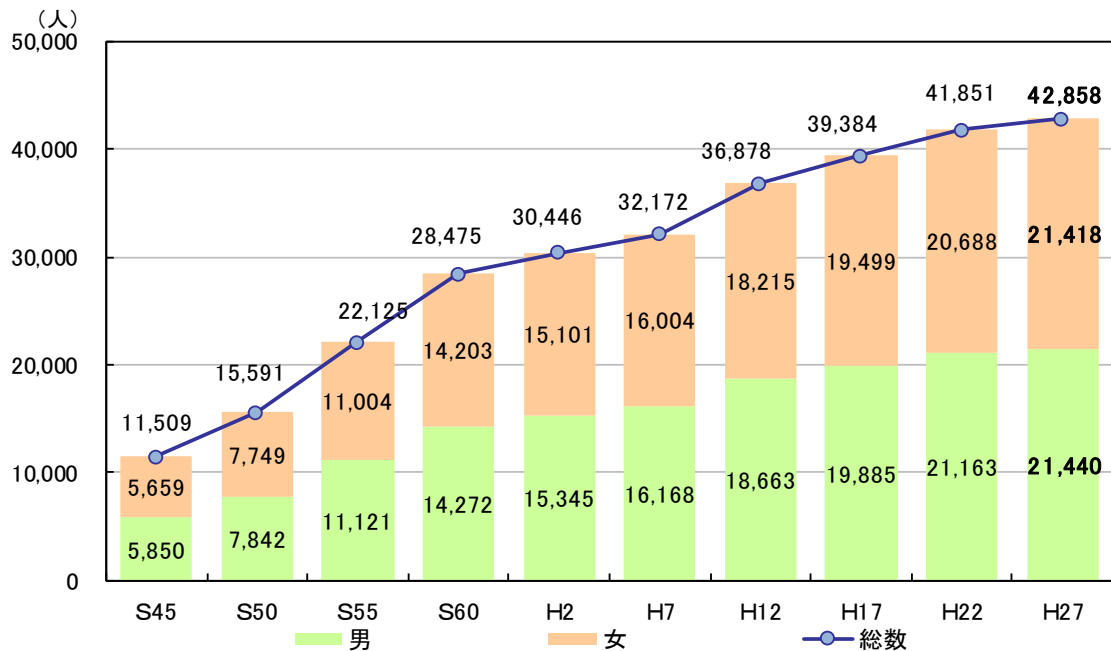
令和3年3月

東郷町

# 1 本町の人口の動向

## (1) 総人口の推移 (国勢調査)

本町の総人口は、昭和45年以降増加し続け、平成27年では42,858人となっています。また、男女の比率もほぼ半々となっています。

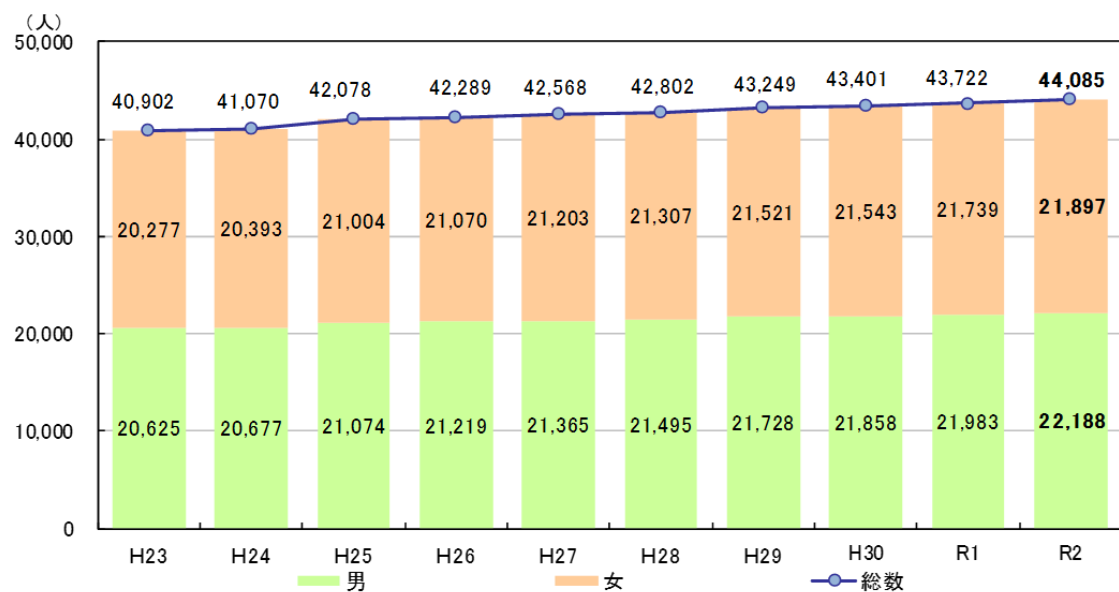


※令和2年調査結果は現在集計中

資料：総務省「国勢調査」

## (2) 直近10年間の推移 (住民基本台帳)

男女共に増加しており、直近10年間で総人口は3,183人増加しています。



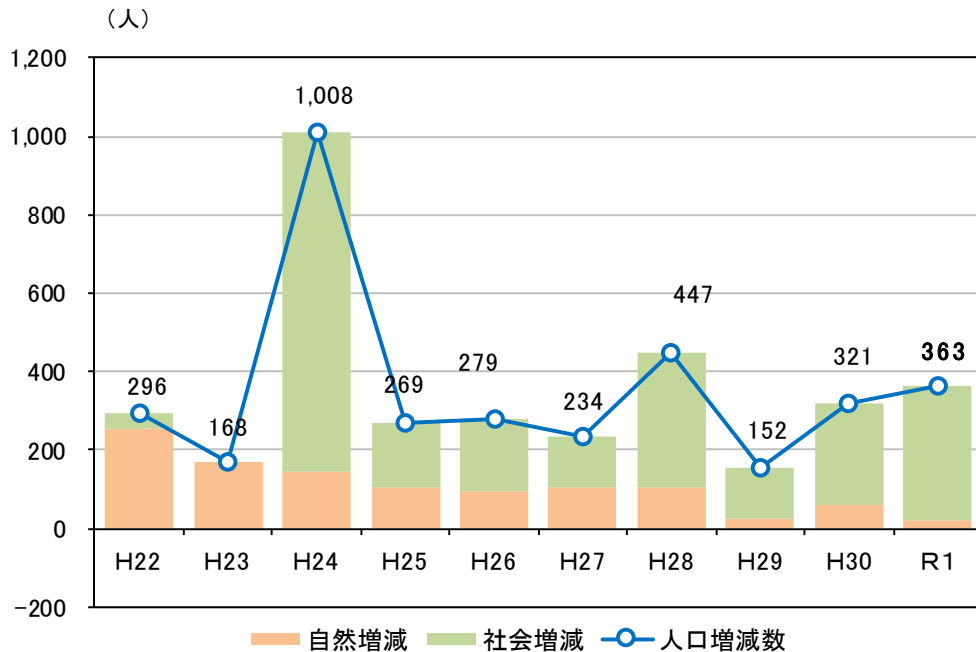
※各年1月1日現在。H25年以前は3月31日現在  
 ※H25年以降は住民基本台帳の外国人住民を含む。

資料：総務省「人口動態(市町村別)」

## 2 人口動態の状況

### (1) 人口増減の状況

人口増減数は社会的・経済的要因によって各年増減していますが、直近10年を通してみると、人口増が続いています。

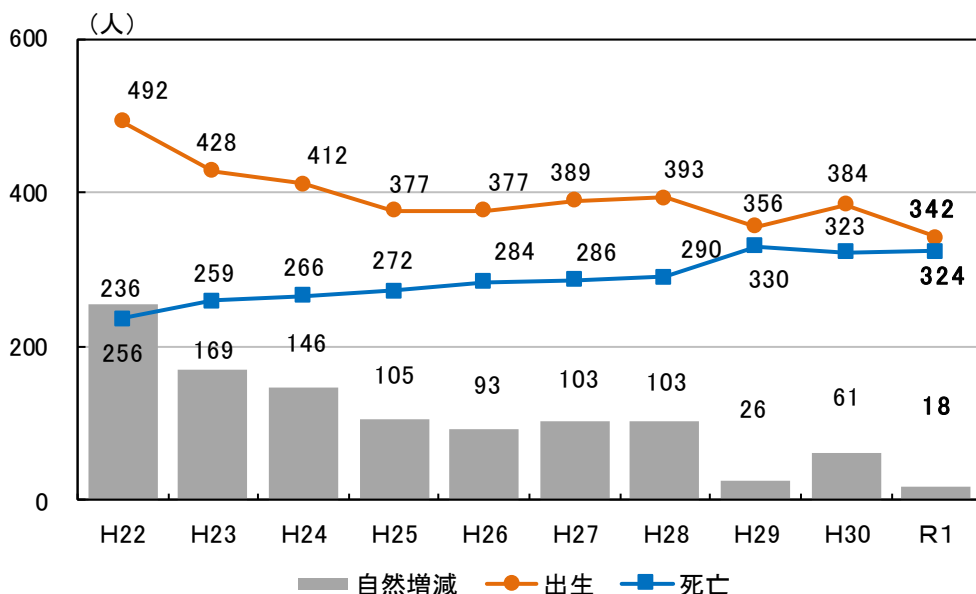


※各年の変動数。H24年以前は年度間移動数  
 ※H24年以降は住民基本台帳の外国人住民を含む。

資料：総務省「人口動態（市町村別）」

### (2) 自然動態の推移

本町は一貫して出生数が死亡数を上回っており、令和元年の出生数は342人、死亡数は324人で18人の自然増となっています。しかしながら、高齢化に伴い死亡数が増加傾向にある一方で、出生数が減少していることから、自然増が減少傾向にあります。

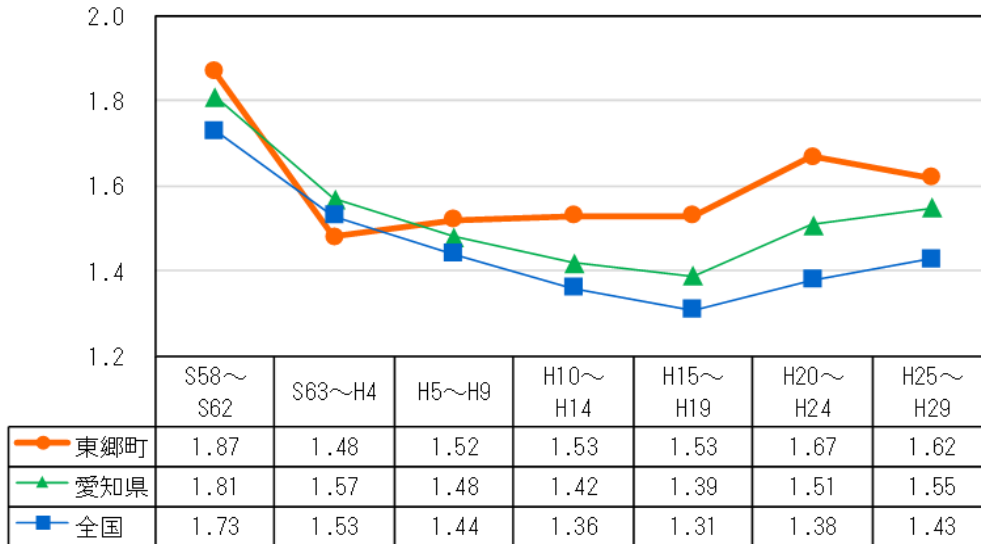


※各年の変動数。H24年以前は年度間移動数  
 ※H24年以降は住民基本台帳の外国人住民を含む。

資料：総務省「人口動態（市町村別）」

### (3) 合計特殊出生率の推移

合計特殊出生率※は平成5～9年以降、愛知県及び全国を上回っています。  
 前回（平成20年から平成24年まで）より0.05ポイント減少しています。

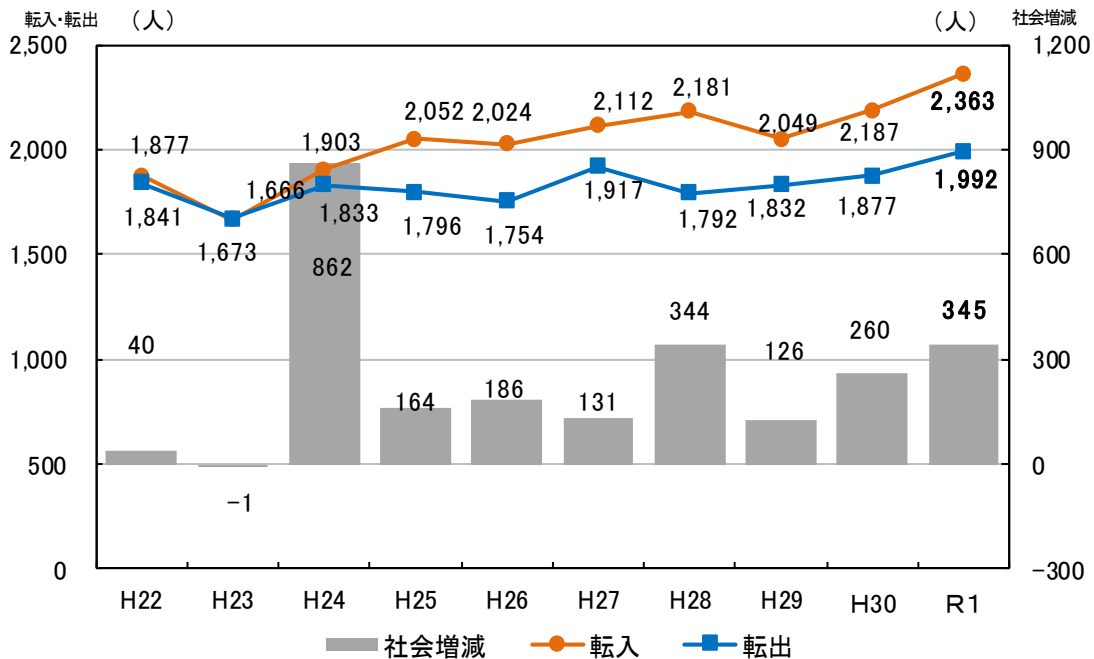


※15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計した指標であり、1人の女性が一生の間に産む平均の子どもの人数を表わしたものです。

資料：厚生労働省「人口動態保健所・市区町村別統計」

### (4) 社会動態の推移

令和元年の転入者数は2,363人、転出者数は1,992人となっています。  
 平成23年に社会減となったものの、その後は社会増が続いています。



※各年の変動数。H24年以前は年度間移動数  
 ※H24年以降は住民基本台帳の外国人住民を含む。  
 ※社会増減にはその他の移動を含む。

資料：総務省「人口動態（市町村別）」

### 3 住宅地平均価格の比較

#### (1) 東郷町と近隣市の住宅地平均価格の比較

令和2年(2020年)地価公示では、東郷町の住宅地の平均地価は102,100円/㎡と、愛知県の住宅地の平均地価113,900円/㎡を下回っています。

また、近隣市と比較すると、東郷町の住宅地の平均地価は瀬戸市、尾張旭市に次いで低くなっています。

(単位：円/㎡)

	平成29年 (2017年)	平成30年 (2018年)	平成31年 (2019年)	令和2年 (2020年)	伸び率 (平成29年→ 令和2年)
東郷町	95,700	98,400	100,600	102,100	106.7%
愛知県	107,100	108,400	111,600	113,900	106.3%
名古屋市	172,100	175,000	183,100	188,700	109.6%
瀬戸市	54,900	55,600	57,000	57,500	104.7%
尾張旭市	96,400	97,000	100,100	100,700	104.5%
豊明市	105,800	108,700	108,000	110,200	104.2%
日進市	121,400	124,400	132,500	134,300	110.6%
みよし市	109,000	111,900	114,200	116,100	106.5%
長久手市	137,500	143,500	149,000	152,500	110.9%

※伸び率は令和2年の値を平成29年の値で除して算出。

資料：愛知県「地価公示 市区町村別・用途別標準地数、平均価格、平均変動率」住宅地平均地価額



## 基本目標別進捗状況

# 1 総合戦略の位置付け

## ■第6次東郷町総合計画と人口ビジョン・総合戦略との関連イメージ





## 2 基本目標と施策

「人口ビジョン」で定める本町の将来展望の実現に向けて、「まち」「ひと」「しごと」の3つの視点を踏まえて、「総合戦略」の推進に向けた4つの基本目標を掲げます。その基本目標に「数値目標」を設定し、その実現のための具体的な施策を提示します。さらに、取組の進行管理として、施策ごとに「重要業績評価指標（KPI）」を設定します。

なお、基本目標に対する数値目標及び施策に対する重要業績評価指標（KPI）の現状値は、特に記載のない限り、平成30年度（2018年度）時点の値とし、実績値は、令和元年度（2019年度）時点の数値、目標値は、令和6年度（2024年度）時点の数値とします。（ただし、「町民の割合」といった指標については、目標年次に一番近い住民意向調査等の数値とします。）

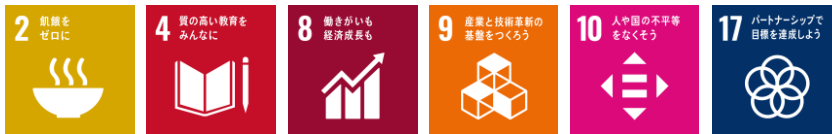
### 【戦略の推進体系】

#### 人口ビジョンで定める将来展望の実現

視点	基本目標	施策
まち・ひと・しごと	1 しごとをつくり、安心して働けるようにする	(1) 町の産業を活性化し、新たな産業の誘致を進める (2) 創業支援体制を構築する (3) 地産地消による農業の活性化を目指す (4) 全世代・全員活躍型のまちづくりを推進する
	2 新しいひとの流れをつくる	(1) 魅力あるまちの中心核をつくる (2) まちの魅力の発信と交流・定住を促進する (3) ふるさと納税を活用して地域活性化を図る
	3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(1) 妊娠・出産を支援する (2) 安心して子育てができる環境をつくる (3) ワーク・ライフ・バランスを推進する
	4 安心して暮らせる魅力的な地域をつくる	(1) 公共交通の基盤整備・機能強化を進める (2) 郷土愛や誇りを持てる地域文化を育む (3) 地域の安全・安心を強化する (4) 産官学等の連携を強化する (5) 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する

## 基本目標1

## しごとをつくり、安心して働けるようにする



### 数値目標

指標	現状値	実績値	目標値	状況
町内従業者数 <sup>※1</sup> (東郷町内の事業所で働く人の数)	12,704人	—	14,700人	—
東郷町内で働く町民の数 <sup>※2</sup>	6,082人	—	6,300人	—

※1 経済センサス (現状値：H28 目標値：R 6 直近)

※2 国勢調査数値 (現状値：H27 目標値：R 7)

### 具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)

#### 町の産業を活性化し、新たな産業の誘致を進める

##### ◆具体的な施策

施策	内容
①新たな産業の誘致	<ul style="list-style-type: none"> <li>●東郷町企業立地促進条例による奨励措置等により、新たな企業の立地を促進します。</li> <li>●新市街地候補ゾーン(工業系、研究開発系)を中心とした土地利用を促進します。</li> </ul>
②町内企業の拡張・育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小規模企業等を対象に企業の拡張や人材の育成を支援し、既存産業の強化を図ります。</li> </ul>
③高校・大学との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高校・大学における人材育成の一環として、協働のまちづくりを推進し、関係人口の創出・拡大につなげます。</li> </ul>

##### ◆KPI

指標	現状値	実績値	目標値	状況
新規誘致企業数(累計)	10社	11社	13社	➡

##### 【令和元年度の主な取組】

○開発の意向がある企業や企業立地促進条例の対象となる企業に対して、事業所の新設等に伴う手続きの助言及び事業所の新設等を行うために必要な用地確保の協力、その他必要な協力を随時行いました。

○愛知県主催のイベントに出席し、町外の企業に本町の誘致制度の紹介を行いました。

○愛知県産業立地ガイドブックに本町の誘致制度などを掲載し積極的に誘致をPRしました。

### 【今後の取組】

- 引き続き企業立地を促進するほか、町内に工場を新設等する事業者に対し、企業立地に係る奨励金を交付するなど町の産業の活性化、新たな産業の誘致・育成を進めていきます。
- 様々な機会を捉えて、企業誘致をPRしていきます。

## 創業支援体制を構築する

### ◆具体的な施策

施策	内容
①新たな産業を担う創業者の育成	●創業者に対する相談・支援体制の強化を図り、創業者の新たなビジネス創出を支援します。

### ◆KPI

指標	現状値	実績値	目標値	状況
新規創業者数(累計)	37人	55人	70人	▲

### 【令和元年度の主な取組】

- 地域における創業を促進するため、町が民間の創業支援事業者と連携し、ワンストップ相談窓口の設置や創業支援セミナーを開催しました。

### 【今後の取組】

- 創業支援事業計画に基づき、商工会や金融機関などの関係団体と連携しながら、創業支援セミナーの開催等の開催を継続的に実施し、創業しやすい環境を整えていきます。

## 地産地消による農業の活性化を目指す

### ◆具体的な施策

施策	内容
①担い手及び新規就農者の育成	●新規就農を促進するため、就業の準備や就農に必要な技術・経営力の習得を支援します。 ●農業の活性化を図るための農学校やふるさと農園等の取組を継続し、農業の担い手を育成します。
②特産品の商品化支援	●農産物等の地域資源を活用した、産官学の連携による新たな特産品の開発を支援します。
③地産地消の推進	●農産物の直売や給食等での町産食材の使用、各種行事等を通じた地産地消に対する意識の高揚を図り、地産地消を推進します。

◆ K P I

指標	現状値	実績値	目標値	状況
認定農業者数 及び認定新規就農者数	7人	13人	10人	↗
商品開発数(累計)	22品	22品	26品	→

【令和元年度の主な取組】

- 農業の担い手が行う土地利用集積に対して助成したほか、担い手に農作業を委託した農業者に委託料の一部を助成しました。
- 就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、新規に農業経営者となる青年就農者に対し、補助を行いました。
- 東郷ふるさと寄付をされた方に、感謝の気持ちを込めてお礼の品を贈呈しました。
- 農作物の地産地消を促進し、農業者、商業者及び消費者の相互交流を深めるため、軽トラ市を開催しました。
- 地産地消を推進するため、東郷町産食材を給食で使用しました。
- 新たな特産品として、株式会社モンシェールと連携し東郷町産の米粉を使用したオムレットを開発し、商工会青年部と協力して、文化産業まつりで一般販売をしました。

【今後の取組】

- 農業の振興及び農業経営の安定を図るため、認定農業者等の担い手への利用権設定を促進し、担い手の経営改善に対する支援も実施していきます。
- 農業の効率化に向け集積・集約に取り組めます。
- ふるさと納税返礼品に地元の特産品等を贈呈します。
- 食を通じた地域理解や、食文化の継承を図るため、引き続き東郷町産食材を給食に使用していきます。
- 引き続き東郷町産食材を使用した商品の開発を支援していきます。

全世代・全員活躍型のまちづくりを推進する

◆具体的な施策

施策	内容
①全世代・全員の活躍の場づくり	●シルバー人材センターや町民活動団体等と連携し、高齢者や障がいのある方等の就労や社会参加の機会の拡充を図ります。
②高齢者同士や子ども達との交流推進	●高齢者同士や、子どもと高齢者の世代間交流を推進します。

## ◆ K P I

指標	現状値	実績値	目標値	状況
東郷町シルバー人材センター 会員就業率	72.9%	73.3%	88.9%	
住民参画や協働の主体として 町政に関わりたいと思う町民の割合	13.9%	—	24.5%	—

## 【令和元年度の主な取組】

- 長年の職業的経験や技能を生かしたいと望む高齢者に働く機会を提供し、地域で活躍するための公益社団法人シルバー人材センターに対して、運営を支援しました。
- 地域に開かれた親しまれる保育園づくりを推進するため、未入园児とその保護者、お年寄り、小中学生などに参加を募り、保育園のふれあい交流事業を実施しました。
- 高齢者がボランティア活動を通じて社会参加や地域貢献を行いながら、自らの介護予防・健康増進に積極的に取り組めるよう高齢者ボランティアポイント制度を実施しました。

## 【今後の主な取組】

- スポーツ、レクリエーション、趣味、地域での活動の場づくり、学習活動等を通じた世代間交流をはじめ、就労を通じた生きがいづくり、思い出の語り場づくりなど、高齢者が地域でいきいきと暮らす活動や交流を支援していきます。

## 基本目標2

## 新しいひとの流れをつくる



### 数値目標

指標	現状値	実績値	目標値	状況
転入超過数(年間) <sup>※1</sup>	310人	371人	270人	▲
昼夜間人口比率 <sup>※2</sup>	79.3	—	84.9	—

※1 総務省人口動態調査（現状値：H30 目標値：R6）

※2 国勢調査数値（現状値：H27 目標値：R7）

### 具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

#### 魅力あるまちの中心核をつくる

##### ◆具体的な施策

施策	内容
①まちの中心核の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>●東郷中央土地区画整理事業や道路改良等を進めることにより、新たな中心市街地を形成します。</li> <li>●町全体の低炭素化をリードする先導地区としてふさわしい様々な環境施策を導入し、環境にやさしいまちづくり及びコンパクトなまちづくりを推進します。</li> </ul>

##### ◆KPI

指標	現状値	実績値	目標値	状況
便利な魅力のあるまちの中心地がつくられていると感じている町民の割合	47.1%	—	64.0%	—

##### 【令和元年度の主な取組】

- 東郷中央地区へつながる町道合ヶ丘・新池線を整備しました。
- 東郷中央土地区画整理組合が行う都市計画道路名古屋春木線の整備に係る費用の一部を負担しました。
- 東郷町エコまちづくり計画を推進するため、計画に掲げる導入メニューの実現に向けた調査・検討を行うとともに、計画の進捗管理を行いました。

##### 【今後の主な取組】

- 「子どもからお年寄りまで、みんなが歩いて暮らせる便利なまち」を目指し、集約型都市構造への転換を実現するため、その中心事業となる東郷中央土地区画整理事業を組合及び各関係機関と調整を図りながら推進します。

## まちの魅力の発信と交流・定住を促進する

### ◆具体的な施策

施策	内容
①シティプロモーションの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●広報紙・ホームページの充実やシティプロモーション動画の活用により、本町の魅力を効果的に発信します。</li> <li>●SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）やAI<sup>4</sup>等の新技術を活用した情報発信を推進します。</li> </ul>
②職場体験等の受入れの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●職業意識形成に資する支援のほか、地元の職場としての魅力を発信するため、地域の将来を担う若者の職場体験等の受入れを積極的に推進します。</li> </ul>

### ◆KPI

指標	現状値	実績値	目標値	状況
東郷町が住みやすいと感じている町民の割合	66.5%	—	73.0%	—
定期的に町のホームページを見ている人の割合	10.3%	—	28.0%	—

#### 【令和元年度の主な取組】

- まちの魅力を動画で発信するため、従来の町行政広報番組「とうごうチャンネル」の構成をシティプロモーション向けに再編成して5本の動画を制作し、ケーブルテレビやYouTubeなどで放送しました。
- 結婚や出産などの記念に特別な広報紙を作成し、対象者に配布しました。
- ららぽーと愛知東郷内のテナントについて協議を進めました。

#### 【今後の主な取組】

- プロモーションターゲットを明確にし、本町の魅力を町内外に向けて広く発信するため、各種SNS、大型商業施設等、波及効果の高い媒体を軸にプロモーションを行います。
- 産官学連携や、民間企業のサービス活用により、効果的なプロモーション方法を検討します。

## ふるさと納税を活用して地域活性化を図る

### ◆具体的な施策

施策	内容
①東郷ふるさと寄付の返礼品拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>●町内企業等の協力を得ながら返礼品の拡充を図り、本町への寄付の促進、町の魅力の発信、産業のさらなる振興等を推進します。</li> </ul>

<sup>4</sup> AI  
Artificial Intelligence の略称。人工知能のことをいう。

◆ K P I

指標	現状値	実績値	目標値	状況
東郷ふるさと寄付の返礼品数	38品目	47品目	拡大	

**【令和元年度の主な取組】**

- 東郷ふるさと寄付をされた方に、感謝の気持ちを込めてお礼の品を贈呈しました。
- 新たに返礼品9品目、2事業者を加え、本町の魅力の発信に努めました。

**【今後の取組】**

- 町内で活躍する事業者及び魅力的な返礼品の登録を推進することで本町の魅力を発信していきます。



## 基本目標3

## 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる



### 数値目標

指標	現状値	実績値	目標値	状況
合計特殊出生率	1.50 <sup>※1</sup>	1.62	1.8 <sup>※2</sup>	▲
安心して子どもを産み育てられると考える町民の割合	50.0%	—	53.0%	—

※1 町独自推計（平成29年度実績）

※2 国、愛知県の人口ビジョン同様に目標年次を令和12年（2030年）とする。

### 具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

#### 妊娠・出産を支援する

##### ◆具体的な施策

施策	内容
①妊娠・出産の支援	●妊婦健診や不妊治療費の助成、不育症に対する支援、相談体制の充実を図ります。
②青少年を対象とした乳幼児とのふれあいの機会の充実	●園児と中高生の交流等を推進し、青少年が子どもとふれあう機会の充実を図ります。

##### ◆KPI

指標	現状値	実績値	目標値	状況
初産婦のパパママ教室参加率	43.9%	58.3%	50.0%	▲

##### 【令和元年度の主な取組】

- 妊娠・出産の支援として妊産婦及び乳幼児を対象とした各種健診を実施したほか、新生児・妊産婦訪問指導を実施しました。
- 受診のない方へ電話による受診勧奨のほか、家庭訪問や面談により発達確認を行い、健診未受診者への支援を行いました。
- 不妊や不育に悩む夫婦に対し、治療に要する費用の一部を助成しました。
- 妊産婦の移動負担を軽減するために妊産婦タクシー料金助成事業を実施しました。

##### 【今後の主な取組】

- 今後も健やかな妊娠・出産・育児をサポートする事業を実施し、安心して子どもを産み育てられる環境を整備していきます。

## 安心して子育てができる環境をつくる

### ◆具体的な施策

施策	内容
①子育て世帯の経済的負担の軽減	●第三子保育料無料化や18歳までの医療費無料化等を継続し、子育て世代の負担軽減を図ります。
②子育て支援の充実	●放課後子ども教室や放課後児童クラブ、相談援助体制の拡充等、多様な子育て支援施策の推進を図ります。
③小中学校における教育内容や教育環境の充実	●グローバルな競争環境や社会の変化に対応できる子どもたちを育むため、小中学校においてICT環境の整備や英語教育の充実等を進めます。 ●給食費の負担軽減や食物アレルギーの有無に関わらず、全ての児童生徒が学校生活を安全・安心に過ごせるよう取り組みます。 ●地産地消食材や有機栽培野菜の使用を拡大するとともに、給食による栄養充足率のさらなる向上に努め、「食の安全・充実」を図ります。
④保育サービスの向上	●病児・病後児保育や一時保育等の充実を図るとともに、保育園の改修を進めます。
⑤子育て支援情報の発信	●広報・ホームページ、子育てガイドブック、子育て支援専用サイトやスマホアプリ等の多様な媒体を通して、子育て支援情報を定期的に発信します。

### ◆KPI

指標	現状値	実績値	目標値	状況
保育所待機児童数	0人*	0人	0人	➡
子育て支援サービスに満足している町民の割合	30.2%	—	37.7%	—

※ 平成31年4月1日現在

### 【令和元年度の主な取組】

- 子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、第三子以降の保育料無料や子どもの医療費自己負担額を18歳まで無料化、未熟児に対する医療費の助成を引き続き実施しました。
- 小学校区全てで放課後子ども教室（きらきらこども）を実施したほか、共働き家庭の児童が放課後を安全・安心に過ごせるよう放課後児童クラブを6児童館（小学校区全て）で実施しました。
- 小中学校に外国人英語指導助手を配置し、英語教育の充実を図りました。
- 給食費の一部を公費負担し、保護者の負担を軽減しました。
- 子育てアプリで子育て支援センターや児童館、予防接種などの母子保健に関する情報を発信しました。

### 【今後の主な取組】

- 子育て支援No.1を目指し、愛知県内初の取組として開始した18歳までの子ども医療費無料化及び不育症治療費助成制度をはじめ、様々な子育て支援施策を展開しています。今後も待機児童の解消やニーズに合った保育サービスの充実など、子ども・子育てを取り巻く施策を総合的に推進するとともに、民間のノウハウも活用しながら保育環境の充実を進めていきます。
- 新鮮で無添加、健康に役立つ有機栽培野菜を給食食材に取り入れます。
- 地産地消食材においては、提供回数の拡大に努めていきます。
- 国のJETプログラムを活用し、小中学校に配置している外国人英語指導助手を増員し、英語授業のさらなる充実を図ります。
- 全ての児童生徒に1人1台タブレット端末を配付し、ICT教育を推進します。

## ワーク・ライフ・バランスを推進する

### ◆具体的な施策

施策	内容
①女性の活躍推進	●女性の就労支援とキャリア形成を促進するため、女性の活躍推進に関連するセミナーを開催します。
②ワーク・ライフ・バランスの推進	●町民や事業者に対し、ワーク・ライフ・バランスの推進に係る情報提供と意識啓発を推進します。
③男女共同参画を進める意識づくり	●東郷町男女共同参画プランに基づき、職場・地域・学校・家庭等、社会のあらゆる領域で男女共同参画を推進するための取組を実施します。

### ◆KPI

指標	現状値	実績値	目標値	状況
女性の活躍推進に関するセミナー参加者数	21人	20人	30人	↓
パパママ教室の男性参加率	37.5%	55.3%	50.0%	↑
女性の就業率(25歳から44歳) <sup>※1</sup>	70.3%	—	73.1% <sup>※2</sup>	—

※1 国勢調査数値（現状値：H27 目標値：R7）をもとに算出

就業率＝（就業者／25歳から44歳の人口）×100で算出（分母から「労働力状態不詳」を除く）

※2 県の値（H27国勢調査数値）

### 【令和元年度の主な取組】

- 町内在住在勤の女性を対象に、これからも自分らしく輝いていくために「100年時代のキャリアデザイン」講座を実施しました。
- 父親の育児参加意識の向上のためのパパママ教室を開催しました。（再掲）
- 町管理職以上の職員や町内の企業や事業所の経営者等を対象に研修を行い、イクボスを宣言しました。

○男女共同参画の情報を幅広く町民や事業者に発信するため、東郷町男女共同参画情報誌「イーストピア」を発行し、各公共施設への設置及び町ホームページで周知を行いました。

**【今後の主な取組】**

○「男女の人権の尊重」や「家庭生活と職場や地域等での活動との両立」等、第2次東郷町男女共同参画プランで定めた6つの基本理念のもとに計画を推進していきます。

## 基本目標4

## 安心して暮らせる魅力的な地域をつくる



### 数値目標

指標	現状値	実績値	目標値	状況
東郷町に住み続けたいと考える町民の割合	81.7%	—	85.3%	—
健康寿命の延伸	男性 80.90歳※ 女性 84.55歳※	—	延伸	—

※ 平成27年国勢調査数値を基に算出（いきいき東郷21（第2次））

### 具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

#### 公共交通の基盤整備・機能強化を進める

##### ◆具体的な施策

施策	内容
①巡回バスの充実と公共交通の利用促進	●東郷町地域公共交通網形成計画に基づき、鉄道、路線バス、巡回バス及びタクシーが相互に補完し合い、住民の生活行動に応じた利用しやすく、合理的かつ効率的な公共交通ネットワークを形成します。
②バスターミナルの整備と新たな交通網形成の推進	●まちの中心にバスターミナルを整備し、公共交通の連携を図り、自家用車がなくても移動しやすいまちを形成します。
③新たなモビリティサービスの活用	●バス・タクシー運行時におけるAIや自動運転技術、様々な移動を1つの移動サービスとして捉えるMaaS <sup>5</sup> 等の新たなモビリティサービスの活用を検討します。

##### ◆KPI

指標	現状値	実績値	目標値	状況
じゅんかい君の総合的な満足度	53.3%	—	69.0%	—
バス等の公共交通機関の整備に満足している町民の割合	13.4%	—	21.6%	—

<sup>5</sup> MaaS

Mobility as a Serviceの略称。スマホアプリにより、地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせる検索・予約・決済等を一括で行うサービス。

### 【令和元年度の主な取組】

- 町民の移動手段を確保し、町内交流の促進及びまちの活性化を図るため、町内全域をカバーする巡回バスを運行しました。
- 地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議するため、地域公共交通会議を開催しました。
- 公共交通をテーマとしたタウンミーティングを開催し、意見交換やアンケートを実施しました。
- 広域的な公共交通ネットワークの形成により利便性や効率の向上を図るため、近隣5市町で広域連携による公共交通について意見交換をしました。

### 【今後の主な取組】

- 住民アンケートを通じて町民ニーズを的確に捉え、巡回バスの再編案の策定を進めていきます。
- デマンド型交通を路線再編開始後に実施するための前段階として、実証実験を計画していきます。
- 東郷町地域公共交通網形成計画（H28～R2）の評価・総括を行い、次期計画（R3～R7）を策定します。

## 郷土愛や誇りを持てる地域文化を育む

### ◆具体的な施策

施策	内容
①地域文化の継承	<ul style="list-style-type: none"><li>●伝統行事や祭り、文化財等の保存・活用、各種教室の開催等により、地域文化の継承・振興を図ります。</li><li>●中学生や高校生に対し、「ふるさと教育」を推進することにより、まちに対する愛着と誇りを醸成し、定住促進につなげます。</li></ul>

### ◆KPI

指標	現状値	実績値	目標値	状況
地域で共に助け合い、支え合う風土があると考える町民の割合	30.3%	—	34.0%	—

### 【令和元年度の主な取組】

- 地域の伝統文化の継承及び町民相互の交流を促進するため、第41回東郷町民納涼まつりを開催しました。
- 町内の文化財を広く町民に周知するための文化財めぐりや歴史講座を開催しました。
- 本町の歴史・文化財に触れる機会として、郷土資料館・昔体験館ガイドツアーを開催しました。
- 東郷音頭を次世代に継承していくため、講習会を保育園・児童館等で実施しました。

### 【今後の主な取組】

- 本町の歴史を感じてもらおうとともに、郷土に誇り・愛着が持てるよう働きかけます。
- 貴重な文化財を後世に伝承できるよう、文化財の保存・継承に努めていきます。

## 地域の安全・安心を強化する

### ◆具体的な施策

施策	内容
①地域防災の推進	●自主防災組織の育成や消防団の充実・強化、風水害や地震災害に対応する総合防災訓練の実施等により、地域の防災力を高め、災害に強いまちを形成します。
②企業との連携強化による防災力の向上	●大規模災害発生時に迅速に応急対策を行えるよう、民間企業や団体等との災害協定の締結を進めます。
③安全・安心なまちづくり	●交通事故や犯罪の軽減のため、交通安全対策や青色パトロールカー巡回等を推進します。 ●防犯対策の強化のため、防犯灯の整備充実やLED化、防犯カメラの設置、地域の見守り体制の充実等を推進します。

### ◆K P I

指標	現状値	実績値	目標値	状況
普段から防犯に心がけている町民の割合	65.1%	—	74.0%	—
地震や風水害等の災害に備えている町民の割合	39.6%	—	46.0%	—

### 【令和元年度の主な取組】

- 交通安全教室の開催や各種交通安全キャンペーンを実施しました。
- 高齢者による交通事故の減少を図るため、運転免許証を自主返納した65歳以上の高齢者に交通安全啓発品を贈呈しました。
- 町総合防災訓練を実施したほか、自主防災組織の育成及び防災訓練などの各種活動を支援し、災害用備蓄品を計画的に整備しました。
- 災害協定先のオープンスペースに防災倉庫を整備しました。
- 耐震性貯水槽を整備しました。
- 65歳以上の高齢者のみの世帯などに対して、家具の転倒を防止するため、金具の取付を行いました。
- 感震ブレーカーを設置する世帯に対し、購入費用の一部を助成しました。
- 防犯灯の整備、青色パトロールカーによる巡回活動を実施するとともに、地域安心メールを活用して不審者情報の提供を行うなど、地域の安全を支援しました。
- 園児、児童を対象に誘拐・連れ去り防止教室を開催したほか、地域を対象とした防犯教室を開催しました。

### 【今後の主な取組】

- 効果的な交通安全教育や各種キャンペーンの方法を検討・実施するほか、高齢者運転免許証自主返納支援など、交通安全に対する町民意識の向上を図っていきます。
- 後付けブレーキ踏み間違い装置の設置や、ドライブレコーダー普及促進事業の実施を進めます。
- 大規模災害時には欠かせない消防団員の災害対応力の向上に努めていきます。また、町内の事業所に消防団員活動への理解を求めるとともに、町主催の事業等に消防団員を積極的に参加させ、消防団をPRしていきます。
- 災害時に備えて、備蓄品の計画的な配置を進めます。
- 大規模自然災害等が起きても機能不全に陥らないようにするため、地域強靱化計画の見直しや訓練を行います。

## 産官学等の連携を強化する

### ◆具体的な施策

施策	内容
①大学等との連携	●誰もが健康で元気に暮らせるよう、産官学等の連携による健康づくり等を支援します。
②自治体間の行政連携	●防災等、近隣市と共同で取り組むことが効果的な分野において、尾三地区自治体間連携により事業の推進を図ります。

### ◆K P I

指標	現状値	実績値	目標値	状況
大学等と連携して取り組む事業数 (累計)	5事業	6事業	8事業	➔
近隣市と共同で取り組むことが効果的な分野で新たに連携が行われた件数 (累計)	9件	9件	拡大	➔

### 【令和元年度の主な取組】

- 尾三地区自治体間連携として、行政の効率化や共通課題の克服のため、様々な分野の連携事業の調査・研究を行い、事業化につなげました。
- 名古屋市近隣市町村と広域連携に関するワーキンググループに参加しました。
- 特定・長寿健診受診者共同研究事業として、メタボ、認知症、運動機能の関係について大学と共同研究を行いました。
- 藤田医科大学と連携と協力に関する協定を締結しました。

### 【今後の主な取組】

- 引き続き行政間の広域的な連携や協働について、研究・検討を進めていきます。



- 特定・長寿健診受診者共同研究事業として、メタボ、認知症、運動機能の関係について大学と共同研究によるデータ分析を行い、健康寿命を延ばす施策へ生かしていきます。
- 藤田医科大学病院へのバスの乗り入れについて検討していきます。

## 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する

### ◆具体的な施策

施策	内容
①健康づくり支援	●町民の健康づくりのため、がん検診・特定健診の実施や、生活習慣病予防・介護予防を推進します。
②運動・スポーツの習慣化支援を通じた健康づくり	●スポーツ分野と医療・介護・福祉分野の連携により、スポーツを通じた健康づくりを支援します。 ●町民レガッタの開催等を通じて、スポーツを通じた交流の促進を図ります。

### ◆K P I

指標	現状値	実績値	目標値	状況
特定健診受診率	45.4%	47.9%	60.0%	➔
胃がん検診受診率	13.7%	13.3%	50.0%	➡
乳がん検診受診率	28.1%	12.9%	50.0%	➡
成人の週1回以上運動・スポーツをしている町民の割合	39.1%	—	60.0%	—




### 【令和元年度の主な取組】

- 各種がん検診や肝炎ウイルス・結核等各種検診を実施したほか、地区の健康に関する講座の実施や活動を支援しました。
- 幼児期運動指針実践プログラムを基にした運動あそびを町立保育園全園で実施しました。
- とうごう体操健康講座及びとうごう体操出前講座でとうごう体操の指導及び実演を行いました。
- 愛知県と本町の協働事業として、あいち健康マイレージ事業を実施し、日ごろから主体的に健康づくりに取り組むことができる環境の整備や動機付けを行いました。
- 高齢者がボランティア活動を通じて社会参加や地域貢献を行いながら、自らの介護予防・健康増進に積極的に取り組めるよう高齢者ボランティアポイント制度を実施しました。(再掲)
- 高齢者の閉じこもり予防や社会参加を目指し、社会参加ポイント制度を実施しました。
- 介護予防教室の開催や、既存の住民主体の活動に専門職が出向き、介護予防の充実を図りました。
- スポーツ推進委員と連携を取りながら体力づくり活動の指導及びニュースポーツの普及に努めました。

○毎月第3日曜日の午前中に町内小学校を開放して家族体力づくりの日事業を行い、健康の保持増進を図りました。

#### 【今後の主な取組】

- がん検診の受診率向上のため、あらゆる機会をとらえて受診勧奨を行っていくほか、節目年齢における医療機関でのがん検診の負担金の軽減を進めます。
- 歯周病検診の対象者を拡大し、歯周病予防を始め口腔機能の維持・向上を図ります。
- 65歳以上の方を対象に、運動教室等を実施し、いきいきとしたからだ作りや介護予防の推進を図ります。
- 特定・長寿健診受診者共同研究事業として、メタボ、認知症、運動機能の関係について大学と共同研究によるデータ分析を行い、健康寿命を延ばす施策へ生かしていきます。(再掲)
- あいち健康マイレージ事業に沿って各種健康づくりメニューを支援します。
- 社会参加ポイント制度を1つのきっかけとして介護予防教室の参加者が増加するよう体制を整備します。
- いつまでも住みなれた地域で暮らすために、コミュニティセンター等で地区と連携して介護予防教室を実施し、地域のつながりを強めます。
- 誰もがスポーツを通じて健康で元気に暮らせるように、地域で気軽にスポーツを楽しむことができる場や機会の充実、各種スポーツ団体の育成、本町の特色あるスポーツであるボート競技の振興などを進めます。

状況	判断基準
	目標値達成に向け、向上しているもの
	目標値達成に向け、横ばいであるもの（変動率±0.5%以内）
	目標値達成に向け、低下しているもの

○指標の最新の実績値が把握できないものは、「—」で示しています。

○指標の「状況」は、指標の最新の実績値が現状値（直近数値）に対してどのような状況にあるかを次のとおり示しています。